

NHO フェローシッププログラム申請書

1. 研修プログラム名 神経難病診療研修プログラム

病院名：東埼玉病院

2. 診療科（専門領域）：神経内科

3. コースの概要

留学期間中、神経内科にてさまざまな神経難病症例を経験し、その診断および経過を通じた治療を経験する。

4. 短期目標

- ・神経難病に特徴的な徴候を学び、病歴と診察所見から診断を導けるようになる。
- ・神経難病の診断と病態把握に必要な検査を理解し、適応と結果を判断できるようになる。
- ・経過が長期にわたる神経難病の病像を理解し、患者の現時点での病態を的確に把握して、将来へ向けた適切な診療方針を立て治療を行なえるようになる。

5. 長期目標

- ・神経難病の診療経験を、病態解明や治療開発に活かす。
- ・神経内科専門医としての自らのあり方を模索する。

6. 取得手技

- ・神経難病に特徴的な徴候を学び、病歴と診察所見から診断を導けるようになる。
- ・神経難病の診断に必要な神経生理学的検査、画像検査、血液検査および遺伝学的検査について、適応と限界を学び、実施および結果の判断ができるようになる。
- ・神経難病患者に必要な、呼吸機能や嚥下機能といった病状評価に基づいて、適切な治療の導入とマネジメントができるようになる。

7. 研修期間：3～6 か月

8. 募集人数：同時期に2名まで

9. 診療科の実績

主要疾患	入院数（年間）
筋疾患（筋ジストロフィー，筋炎等）	290
筋萎縮性側索硬化症	25
多系統萎縮症	30
脊髄小脳変性症	35
パーキンソン病関連疾患	40
ニューロパチー	15
プリオン病	5

10. 診療科の指導体制

医師数 常勤 8名，期間医師 1名，非常勤 1名

指導にあたる医師 7名

主として研修指導にあたる責任医師 鈴木 幹也（経験年数 25年）

11. コンセプト

当院は県内の神経難病診療拠点病院の1つであり，診断から治療管理に至る幅広い経験を得られる。

進行期神経難病患者に必要な呼吸機能や嚥下機能の評価とマネジメントを体得できる。その経験は一般診療にまで応用できる。

さまざまな病期の神経難病症例を多数経験できるので，経過が長期にわたる神経難病の全体像を短期研修で俯瞰することが可能である。

剖検の機会があるので，神経病理学の研修を実施することができる。

希望により筋疾患診療研修プログラムと組み合わせることが可能である。

12. 共通領域研修について

新患カンファレンス、回診（毎週月曜日の午後）

診療カンファレンス（平日の午後）

症例検討会（必要に応じて開催）

脳病理カンファレンス：brain cutting（必要に応じて開催）